

タイの食中毒予防に貢献！

—愛知・富山の共同企業体、次亜塩素酸水生成装置の販売拡大を目指す—

国際協力機構(JICA)は、株式会社河村商会(愛知県一宮市、河村英人代表取締役)と有限会社ヘルス(富山県高岡市、大木俊昭代表取締役)による共同企業体(以下、共同企業体)との間で、「タイ国食品産業の衛生管理強化を通じた食中毒等予防にかかる案件化調査」にかかる業務委託契約を締結しました。

タイでは、食品スーパーや生鮮市場における衛生管理状況は十分とはいえず、タイ保健省疫学局によると、2019年には約11万人が食中毒に罹患し、約110万件の急性下痢症が発生しています。低所得層を中心に消費者約1,500万人が生鮮市場を利用しており、衛生管理対策は喫緊の課題です。

このような現地の課題を解決するため、共同企業体は、食材の除菌洗浄を行える次亜塩素酸水溶液生成装置「アクアライザー」をタイの生鮮市場や食品加工工場に導入し、衛生技術・知識の普及を通じて、従業員や消費者の食中毒などの感染症予防に貢献。SDGsのゴール3(健康と福祉)へ貢献することを目指しています。

上記ビジネスを実現するため、本調査では、装置の現地適合性確認や生鮮市場・食品加工工場の視察、現地の政府機関などに対して衛生管理方法を提案するセミナーを行う予定です。



アクアライザーT-50(有機酸仕様)



次亜塩素酸水溶液を使った食肉の洗浄

写真提供:(株)河村商会

【関連リンク】

「中小企業・SDGsビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部企業連携課 担当：滝本、小笠原

TEL:052-533-1387 FAX:052-564-3751

cbictps@jica.go.jp

日本の真ん中から世界へ
JICA 中部



<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>